

ライオンズクラブ国際協会第二副会長立候補届

	届出月日		2010年4月6日
	所属		334-B地区第2R第2Z (美濃加茂ライオンズクラブ)
	立候補者名		山田 實紘 (やまだ じつひろ)
	自宅		〒505-0025 岐阜県美濃加茂市島町2-4-18 TEL (0574)25-2181
	勤務先		〒505-0034 岐阜県美濃加茂市古井町下古井590 社会医療法人厚生会 木沢記念病院 理事長・病院長 TEL (0574)25-2181 FAX (0574)26-2181
ライオン歴	1985年4月 1990年～1991年 1994年12月～1995年6月 1995年～1996年 1996年～1997年 1997年～1998年 1997年～1998年	美濃加茂LC入会 第2R献眼・献腎・献血 骨髓移植推進委員 クラブ会長 第2R第22ゾーン・チアマン 334-B地区ガバナー 334-B地区名誉顧問会議長 334複合地区四献推進委員	1998年～ 334-B地区名誉顧問 1998年～1999年 334複合青少年指導・糖尿病教育・環境保全委員 1999年～2002年 334複合地区青少年指導・環境保全委員 2002年～2005年 日本ライオンズ連絡事務所管理委員 2005年～2007年 国際理事 1年目 長期計画委員・国際大会委員 2年目 執行委員・長期計画委員 国際大会副委員長
アワード	国際親善大使賞 国際理事表彰アワード ヒューマニタリアンパートナー 地区ガバナー優秀賞		国際会長賞(6回) メルビン・ジョーンズ・フェロー(118回) 国際会長感謝状
職歴	(社会医療法人)厚生会 木沢記念病院 理事長・病院長 (社会医療法人)厚生会 多治見市民病院 理事長 (特定医療法人)清仁会 のぞみの丘ホスピタル 理事長 (社会福祉法人)慈恵会 理事長 (学校法人)大垣女子短期大学 理事長 (学校法人)あじさい看護福祉専門学校 理事長・校長		
学歴	1968年(昭和43年) 日本大学医学部卒業 医学博士 豪州 NSW州立チャールズスタート大学健康科学名誉博士 南カリフォルニア大学医学部トレーニングセンター 研修終了医		
公職	(社団法人)日本病院会 常任理事 全日本病院協会 代議員 日本脳神経外科学会 評議員 岐阜県病院協会 副会長 岐阜県老人保健施設協会 会長 岐阜県ジン・アイバンク協会 理事 岐阜県社会福祉協議会 理事		岐阜大学医学部 客員教授 加茂医師会 会長 岐阜県経済同友会 常任理事 美濃加茂市国際交流協会 名誉会長 岐阜県ハンガリー友好協会 会長 ぎふ・モロッコ王国・モナコ公国同好会 会長 日本・ザルツブルグ同好会 会長
叙勲	ハンガリー共和国中十字勲章 モロッコ王国アラウイー王朝勲章 中国北京市荣誉市民賞		
賞罰	厚生労働大臣表彰(2回) 消防庁長官表彰 ハンガリー共和国大統領表彰 モロッコ王国感謝状 県知事表彰(3回)		
家族	山田 利子(妻) 家族会員 社会医療法人厚生会 木沢記念病院 内科部長		
勤務な地	社会医療法人厚生会 木沢記念病院		

ライオンズクラブ国際協会334複合地区ガバナー協議会
議長 太田 道信 殿

ライオンズクラブ国際協会334-B地区
ガバナー 石井 博之 殿

私儀 ライオンズクラブ国際協会第二副会長として立候補致いたくクラブ推薦状を添えて届出致します。

美濃加茂ライオンズクラブ 山田 實紘

ライオンズクラブ国際協会第二副会長 立候補決意表明

元国際理事 山田實紘

このたび、私、山田實紘（334・B 地区 2 リジョン 2 ゾーン美濃加茂ライオンズ所属）は、ライオンズクラブ国際協会第二副会長選挙に立候補する決意をいたしました。

1917 年にアメリカ合衆国で誕生したライオンズクラブ国際協会は、現在では 45,000 クラブ、130 万人の会員から組織されるまでに拡大し、あと数年で創設 100 年目の大きな節目を迎えようとしております。日本ライオンズも 1952 年に第一号の東京ライオンズクラブが誕生してから、60 年目を迎えようとしています。

この間、日本ライオンズの各会員が、国内のみならず世界各地において貧しい人に手を差し伸べ、光の当たらない場所を照らしてきました。我々日本ライオンズの奉仕活動は、他国の追従を許さない程の輝かしい成果を収めています。

しかし、これまでの功績とは裏腹に、世界第 3 位の会員数を占める日本ライオンズからは過去 1 人の国際会長しか輩出しておりません。この状況が続くと、世界の中での日本ライオンズの存在感が確実に薄れてしまい、延いては国際協会としても大きな損失につながる憂慮すべき事態となりかねません。国際本部からも、日本ライオンズがもっとリーダーシップを發揮して、世界の牽引者となってもらいたいと再三要求を突きつけられています。

こうした状況の中で、何とかしなければいけない、何とかすべしとの思いより熟慮に熟慮を重ねた結果、このたび自らを奮起させ 334 複合地区より国際会長への道を目指し、第二副会長候補として立ち上がる決意を致しました。

2005 年に国際理事に選出され、幸いにも 1 年目には日本人としては始めて長期計画委員会に所属、2 年目には日本では 2 人目となる執行委員として配属され、国際本部の中枢となる仕事を経験させていただきました。国際協会本部の運営の大変さを肌で感じると同時に、本部の機能不全の部分も知り得ることができました。

ライオンズクラブ国際協会は、様々な言語や宗教、文化から成る 200 カ国余りの会員で構成されています。これらの中には、戦争の舞台となっている国々や内紛を起こしている場所もあります。各国の多様性を認めつつ世界を統一していくのは本当に並大抵のことではありません。このことは、執行委員としての経験から深く理解しており、ライオンズの精神を愛する私にはこの困難を乗り越えるだけのエネルギーがあると自負しております。今こそライオニズムの旗の下に日本ライオンズが中心となってイニシアチブをとり、世界のライオンズをリードする時です。忍耐強く努力を重ね、思慮深く、清らかな心を持って、驕ることなく、ライオニズムの高揚に努めてまいります。国内から海外までクリーンでスマートな選挙活動を展開してまいります。

何卒皆様の最大限のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。